



はだ しゅんすけ
羽田 俊介
水曜会
(50分)

新型コロナウイルス感染症は

問

後遺症患者支援の体制整備は。

答

相談は、積極ガイドダイヤルや保健所で対応している。強い倦怠感や息苦しさ等の後遺症が認められた場合、まずはかかりつけ医の受診を促し、そこで専門的な診療が必要と判断された場合は県内22力所の後遺症連携病院を受診していただいている。

鞆町のまちづくりは

問

本市が考える「鞆てらす」の持つ意義は。

答

伝建地区の町並み保存活動の推進や伝統行事の継承、地域住民と来訪者との交流の促進のほか、日本遺産を活用した観光拠点としての魅力発信の強化を目的として整備したものである。

「鞆てらす」を新たな核に、県とも連携することで、暮らしと観光の調和を図りながら、鞆町全体の活性化につなげる。



鞆てらすの内部



きむら もとこ
木村 素子
水曜会
(55分)

福山・笠岡地域公共交通網形成計画は

問

①展開した事業の成果や課題は。
②今年度新たに策定する地域公共交通計画における路線バスの在り方は。

答

①利用促進につなげるため、路線バスに関して、バス接近表示システムの設置等の利用環境整備や目的地までの経路などを記載した公共交通マップの作成に取り組んできた。また、路線バスの廃止代替として乗合タクシーなどを導入し移動手段の確保に努めてきたが、さらなる人口減少も想定される中、持続可能な地域公共交通ネットワークの確保は大きな課題と考えている。②路線バスの担う役割を明確にし、さまざまな移動手段を適材適所に活用することでコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりをめざす。また、国の有識者検討会の議論にも注視しながら、有効な利用促進策や路線維持のための支援策を検討する。



市内を走るまわろーズ



おく ようじ
奥 陽治
公明党
(35分)

※一元代表制は

問

市長の認識は。

答

議会は、市民を代表する機関として市の意思を最終的に決定する市民の合意形成の場である。議会と行政が、市政を進める車の両輪として互いの立場を尊重し合意形成に努めるのが、その在り方と理解する。

子ども施策は

問

国が発足をめざしている「子ども家庭庁」の受け止めと今後の決意は。

答

本市は、「福山ネウボラ」を県内に先駆けて創設し、子育て支援と母子保健サービスを一体的に提供するほか、子ども家庭総合支援拠点を設置し、児童虐待の未然防止にも努めている。本市の子育て支援の在り方は、このたびの国の方針を先取りするものと考えている。引き続き子どもの立場に寄り添うなど、きめ細やかな支援を行う。



妊娠・出産・子育ての相談窓口

※二元代表制：市議会議員と市長を、それぞれ市民が直接選挙で選ぶ制度。議会は条例や予算などを審査・議決する権限を持つが、その執行は行政の長である市長が責任を持つため、議決権と執行権の分離を徹底できる利点がある。